

水ビジョンに関連する取組の実施状況

新 潟 県

新潟県内における協議会設置状況

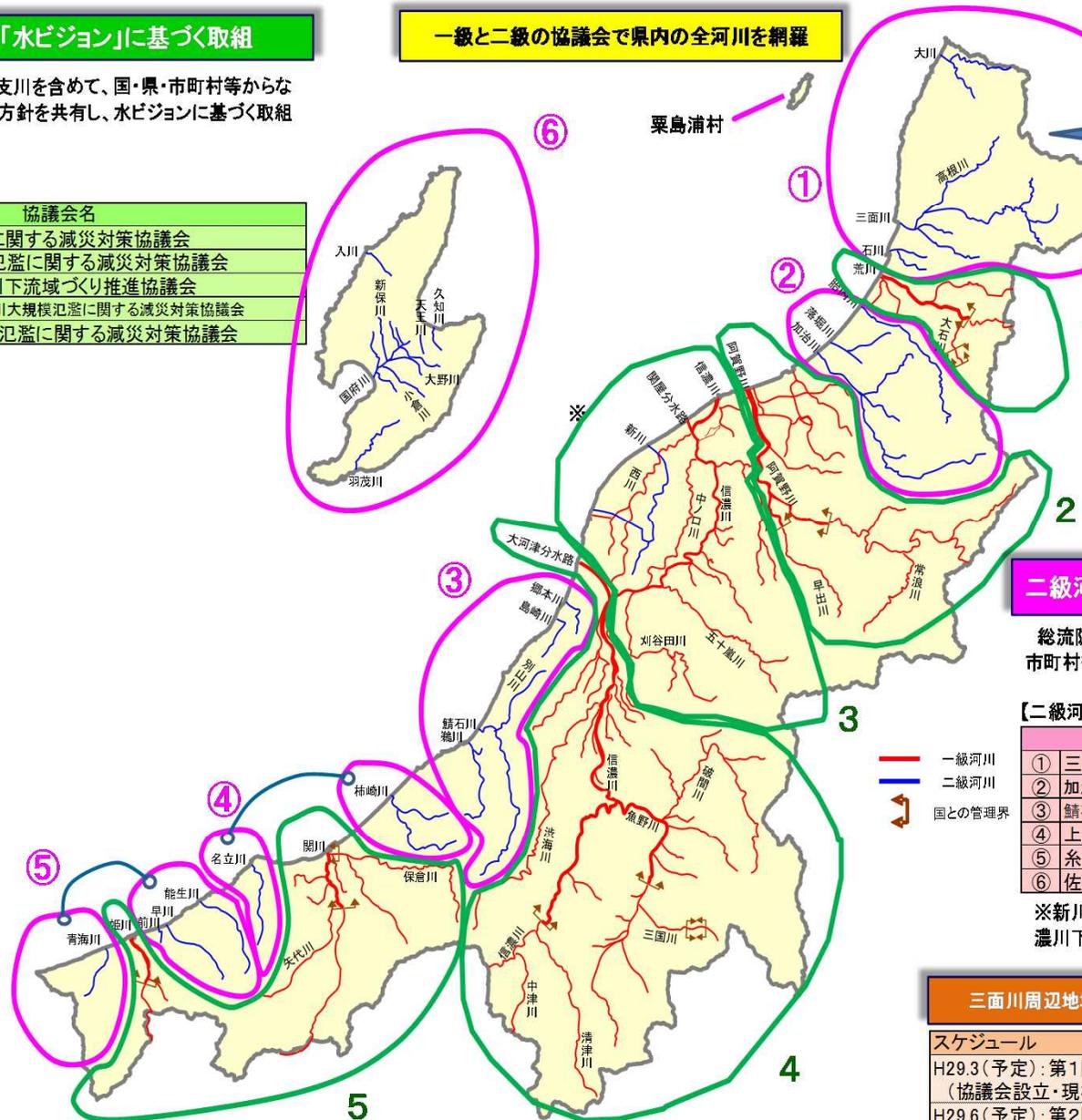
一級河川における「水ビジョン」に基づく取組

上流の指定区間及び支川を含めて、国・県・市町村等からなる協議会で目標や取組方針を共有し、水ビジョンに基づく取組を推進している。

【一級河川5協議会】

協議会名
1 荒川大規模氾濫に関する減災対策協議会
2 阿賀野川大規模氾濫に関する減災対策協議会
3 水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会
4 信濃川中流及び魚野川大規模氾濫に関する減災対策協議会
5 関川・姫川大規模氾濫に関する減災対策協議会

一級と二級の協議会で県内の全河川を網羅



三面川周辺地域における減災対策協議会

水ビジョンに基づく取組のリーディング地域として、全国の二級河川で初となる「三面川周辺地域における減災対策協議会」を開催

スケジュール

10月5日：第1回協議会開催 (協議会設立・現状の取組内容の把握)
12月22日：第2回協議会開催 (目標と取組方針共有・フォローアップ方法確認)

二級河川における「水ビジョン」に基づく取組

総流防の圏域をベースとして県内を6ブロックに分割し、流域市町村等と協働して協議会を設置する予定

【二級河川協議会設置単位(案)】 ※地域機関と調整のうえ最終決定

協議会名(案)
① 三面川周辺地域における減災対策協議会
② 加治川・胎内川周辺地域における減災対策協議会
③ 鱒石川・鶴川・島崎川周辺地域における減災対策協議会(仮称)
④ 上越地域における二級河川減災対策協議会
⑤ 糸魚川地域における二級河川減災対策協議会(仮称)
⑥ 佐渡地域における二級河川減災対策協議会

※新川ほか関屋分水路から大河津分水路の二級河川は信濃川下流域の協議会に含めて取組を推進

三面川周辺地域以外の二級河川における減災対策協議会

スケジュール

H29.3(予定)：第1回協議会開催 (協議会設立・現状の取組内容の把握)
H29.6(予定)：第2回協議会開催 (目標と取組方針共有・フォローアップ方法確認)

想定最大規模の浸水想定区域図の作成状況

県の方針

水防警報河川(洪水予報河川および水位周知河川)を優先的に作成
→ 35河川

H29出水期までに公表予定の河川

中ノ口川	加茂川	下条川	小阿賀野川	能代川
猿橋川	黒川	太田川	渋海川	魚野川
破間川	関川	保倉川	矢代川	栖吉川
刈谷田川	五十嵐川	加治川	早出川	柿崎川
三国川				

H29年度内またはH30年出水期までに公表予定の河川

三面川	高根川	門前川	胎内川	鯖石川
鶺鴒川	国府川	荒川	姫川	

今後実施予定の河川(5河川)

阿賀野川	常浪川	信濃川	正善寺川	渋江川
------	-----	-----	------	-----

タイムライン策定の進め方

- ・先行地域を選定し作成上の課題等を抽出・検証
- ・先行地域の事例を参考にその他地域も作成を進める

先行地域（長岡地域整備部）

- 刈谷田川を対象河川として資料作成
- 平成29年1月に策定済み

その他地域（一級河川）

- 先行地域の事例を参考に1地域1河川を作成
- 平成29年出水期前の策定を目標とする

※二級河川についても順次作成予定

（ただし、二級河川は協議会設立や目標及び取組方針の策定作業もあることから、平成29年出水期までとはせず、順次作成を進めることとします。）

※避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン(案)(内閣府:平成26年4月)を参考に作成。また、国からの情報もあるが、割愛している。
 ※時間経過や対応項目については想定で記載しており、各地域や自治体の体制及び想定する気象経過に応じた検討が必要である。
 ※気象台のホットライン・緊急速報メール(大雨特別警報・記録的短時間大雨情報)は、以下によらず、市町村において避難勧告発令を判断する目安の一つとなる。

赤字: 必須
黒文字: 推奨・任意



刈谷田川 大堰水位観測所

前線性出水を対象とした刈谷田川沿川(見附市)の 避難勧告の発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)

見附市

※避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン(案)(内閣府:平成26年4月)を参考に作成。また、国からの情報もあるが、割愛している。
 ※時間経過や対応項目については想定で記載しており、各地域や自治体の体制及び想定する気象経過に応じた検討が必要である。
 ※気象台のホットライン・緊急速報メール(大雨特別警報・記録的短時間大雨情報)は、以下によらず、市町村において避難勧告発令を判断する目安の一つとなる。

赤文字:必須
 黒文字:推奨・任意

